

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

250号



2022年8月30日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 氷塊落下、国交省は逃げ回り

「羽田低空飛行見直しのための議員連盟」(松原仁事務局長)は根気よく国交省と質疑応答をしていますが、3月13日の氷塊落下についての質問、「航空機から落下した可能性は極めて低いので調査は必要ない」とした判断について、どの飛行機がどの時点で脚下げをしたかを調査すべきではないかという質問には、「ギアダウンの位置確認の必要ない」と実に素っ気なく不誠実な対応です。

他の質問に対しても同様。「羽田空港のこれから」を見ると、至れり尽くせりの低姿勢で努力を謳っていますが現実とは全く違うのです。

○ 不誠実な応答変わらず

数年前の住民説明会でしたが「ヒースローは滑走路2本だが、羽田より多く運用している、視察、研究しましたか？」という質問に対して「視察していない、研究する必要はない、羽田は羽田のやり方でやる。(鈴木室長答弁)」という答えは、国民の不信感を増大させました。

○ 「ねとらぼ」が撃墜書き込み 羽田飛行ルートを遊覧扱い

毎日苦しんでいる人達にとってゆるせない扱いだと話題になっているのが「ねとらぼ」というSNSの記事。都心低空飛行をまるで遊覧飛行のように扱ったのです。かつて日航も「上空からの東京の眺めをお楽しみ下さい」とアナウンスして抗議を受けました。

○ 「常盤台の花」展

9月29日(木)～10月4日(火)

10時～16時

於 「ギャラリー服部」

常盤台の景観を守る会

常盤台公園はなづくりの会 共催

常盤台を散歩していると垣根や塀越しに見える花々に癒やされます。季節毎に移り変わる木や草の花々を道からスマホで撮影させていただきました。

今回は初めてのことで、一番綺麗な状態ではないかも知れず、うちのはもっと綺麗だと言われるかも知れません。ご提供のものがあれば加えて、来年は更に充実させたいと思っています。

ご来場をお待ちしています。

* マーマレードも会場で販売します *

○ 「定点写真」展

具体的な日にちは未定ですが、1969年と2012年と2022年の街並みを定点観測した写真展を企画しています。

○ 常盤台が「じゅん散歩」にも

TV朝日(5チャンネル)の10時からの番組「じゅん散歩」が常盤台を取り上げようとしています。先日、景観を守る会の2葉の写真の掲載許可を求める電話がありました。

「出沒アド街ック」では歴史も雰囲気も違う北口と南口を一緒にしていたため、首をかしげる人も多かったのですが、「じゅん散歩」は15分ほどなので、正確な街の紹介は更に不可能でしょう。期待する方が無理というもの。放映がいつかは聞き損ないました。

「見ざる聞かざる言わざる」 からの教訓 見て聞いて言おう

昔からの言葉で「見ざる聞かざる言わざる」という三匹の猿のことをご存知と思います。都合の悪いことを存在しなかったことにする人生の処し方を表しているのでしょうか。

このように無知で逆らわない大人しい存在こそ為政者・権力者が望む人間像で、今も昔も同じです。権力者に支配されたいためには、これと真逆な人間になることが大事です。つまり、「よく観察し、広く意見を聞き、きちんと自分の意見を言える」ことなのです。

トイレの水量の議論いろいろ

前号でのトイレの流し方に関して更に色々な意見がありました。

一般的には「大」は大便の時、「小」は小便の時、で区別しているようです。

稀にひとり、「大小」は量の多寡で、トイレットペーパーの量で決めている人がいました。「小」の時も潔癖症なのか、まわりの便器も消毒して紙の量が多くなり、詰まるのを恐れてとのこと。TOTOの説明書に、「大」はペーパー10mまで「小」は3m迄流せるとあるそうです。

ただ、多数の人の判断する根拠は、表記が「多」「少」ではなく「大」「小」だということとです。これは量ではなく内容の「便」の区別と考えるのが普通なのでしょう。今回の意見は女性ばかりだったので、男性の意見も聞いてみたいと思います。

安倍元首相の葬儀

反対多数でも無視できるのか

旧統一教会が選挙協力を武器に政治家に食い込んでいく実態が明らかになりつつあります。特に関係者が多い自民党が選挙に勝っていた訳？票の割り振りまでしていた安倍元首相の国葬に反対する人が増えていますが…

汚いオリンピック

そもそもオリンピック招致の段階でも賛成は60%ぐらいで応募国の中で最低でした。初めから黒い噂があり、開催に反対してきた人にとっては、巨額に膨れあがった経費がガラス張りにあきらかにされないまま、賄賂のやりとりまで出てくる中で、経費を負担させられるのはまっぴらごめんと言いたいです。オリンピックで儲けた人達に負担して貰いたい、と思うのはごく自然なことではないでしょうか。

危ないのは札幌。よほど国民がしつかりしていないと、冬季オリンピック招致でまたもや汚い裏工作で税金が使われそうです。

国交省の墜落ぶり

公明党が十年（数えようでは十四年）に亘って国交省大臣のポストを独占し続けている。時事通信が分析しているが、国土交通という巨大利益を扱う部署を永年手放さないには訳があるようだ。最近の国交省は羽田問題以外でも基礎データ改竄など信じられない墜落ぶりなのはその辺に原因があるのだろうか。

常盤台公園のはなづくり

ヒマワリが何本も伸びて来て、花盛りが楽しみです。相変わらず雑草の勢いがすごくて、蚊の来襲と太陽光が怖くて除草を徹底できません。

秋植えの草花の注文書が届き、任されたKさんは頭をひねっています。何を幾つ、どこに植えるか、色々迷っています。

北口公園では雑草もなく、きれいに手入れされています。二本の高い木（名前を聞いたことがありますが忘れました）から黄色の細かい花が落ちて、道に溜まっているのがとても綺麗です。

児童遊園の所の花壇はいつの間にかお休み状態になっています。なんでも持続するのは大変です。ましてやボランティア活動をする人はお年寄りが多いので、体調を崩すこともあるでしょうし、参加者も減っていく一方なのかも知れません。

地域の美化活動は定年後、始めやすい活動だと思えますが、それでもゴミ挟みを握ったり、シャベルで土をいじったりするのに抵抗を感じる人が多いと思います。一方、農村回帰というか、今までの都会風な生活を捨てて、自然に親しみたい人も増えているのが希望を持たせます。

散歩の時に目に入る「花の写真展」に出てください。マーメイドもよろしくお願ひします。

